

Legacy™ System

ガム模型製作について

口腔内のフィクスチャーの位置・角度を再現したインプラントアナログ模型を製作するための印象採得には、専用の印象用トランスファー、またはキャリアを使用します。最終的にはインプラントアナログがインプラントのダミーとして模型内に植立されますが、完全埋入型の Legacy™ の場合、アバットメントとの連結部は歯肉縁下、すなわち模型上では数ミリ沈んだ位置に再現されます。

そこで、審美性や清掃性を確認するとともに、アバットメントとの連結が確実に行われているかを確認する意味でも、インプラントアナログ周囲の表面は人工歯肉材料にて再現されるガム模型に仕上げる必要があります。(図1)

とくに、歯肉の厚い症例にキャリア (Legacy2,3) をトランスファーとして使用する場合、キャリアのアンダーカットが歯肉縁下に沈みこみ、キャリア周囲を石膏にすると石膏模型から除去できなくなるので、必ずガム模型にします。(図2)

ガム模型の製作方法は、

①印象採得後、トランスファー周囲の印象材に分離剤を塗布し、人工歯肉材料を築盛します。その際人工歯肉が厚すぎると、石膏内でアナログの固定が不確実になりますので注意します。

②人工歯肉材料が硬化後、印象に石膏を注入します。

③石膏硬化後トレーから模型を除去し、模型周囲をトリミングします。インプラントアナログ周囲が人工歯肉にて再現されたガム模型が完成します。

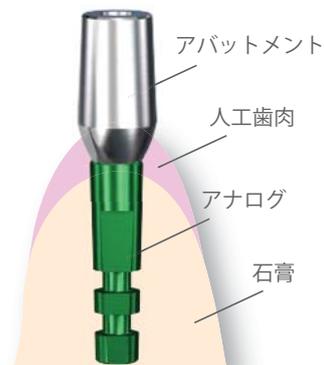


図1

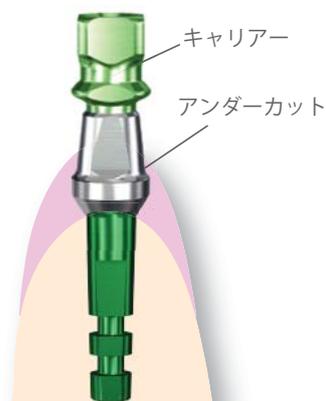


図2

